



87

## まるやまこうえん 丸山公園

長崎県長崎市寄合町1-2

1570年、ポルトガル船と交易を開く目的で開港された長崎は、鎖国時代の我が国唯一の海外への門戸であった。市街地は海に面し平地が少ないため、坂や石段が多く、独特の町並みを形成している。〔文化・観光〕グラバー園、大浦天主堂、崇福寺、石橋・眼鏡橋、くんち（10月7日～8日）、長崎ペーロン競漕大会（7月下旬）

「丸山公園」は長崎市の歓楽街の中心に位置し、周囲には、「花月」など数多くの文化財を有し、歴史的にも由緒ある地域をつくっているが、近年施設が老朽化するとともに、周囲の環境も変化してきたため、リフレッシュ化を図ろうとしたものである。

整備方針としては「花月」より水を引き込み、池を設置し、便所も和風とするなど全体として和風庭園の雰囲気を出した。いっぽう開放的な広場とするため周囲には柵を設けず、道路も一体化して取り込んだ公園として整備した。

公園の完成を契機として、地元自治会のコミュニケーションの場となり、各種イベントも催され、自分たちの庭として利用しようという気運も盛り上がっている。

また管理、運営についても地元住民が愛護会を結成し、積極的に参加している。

